

## 自分らしく生きる

### 小 四

ぼくは、バレエをしています。バレエは、みんな協力しながらおどるのでも、とても楽しいです。

バレエでは、男はバレリーノといい、女はバレリーナといいます。でも、それを知らない人に、「男のくせにバレリーナっておかしい。」と、ぼくは一年生のころから笑われていました。

笑いにされるので、それから、ごく親しい友達だけにしか言いませんでした。でも、ある日、その友達が数人の友達に話をして、さらにその数人がもつと多くの人に話をして、いろいろ

ろな人に笑いにされました。「ただバレエをしているだけなのに、どうして笑われないといけないのだろう。男がバレエをするって変なのかな。」と、とても心がいたみました。分かってくれると思っていた友達が、ぼくの気持ちを分かってくれなくて、とても悲しい気持ちになりました。

先生に相談してみると、友達に、「笑いにしてはいけません。」

と言ってくれて、数日後には、大半の友達がぼくを笑いにしないようになりました。けれども、これからはもう友達にバレエをやっていることは言わないようにしようと思いました。

三年生の終わりのころ、ようやくバレエをやっている友達を見つけて、仲

のよいあいだがらになりました。その友達も、実はぼくと同じようにバレエのことでなやんでいたらしく、ぼくたちとはとても仲よくなりました。ようやく、ぼくの気持ちを分かってくれた友達に会えたと思います。これからは、りかいしてくれない人ばかりだと決めつけないようにしようと思いました。りかいしてくれる人は、必ずいます。

ぼくは、他の人になんと言われようと、バレエを続けたいです。それは、バレエが大好きだからです。バレエをやって、おじいちゃんになっても健康で体がやわらかいおじいちゃんになりたいからです。好きなことがあるというのは、とてもすごいことだと思います。ぼくは、バレエをしていると気持ち

ちがすうつとすつきりします。

自分の好きなことを、だれかに何かを言われるからといって、あきらめることもしたくありません。そして、これからずっと大好きなバレエを楽しんで、自分らしく生きていきたいです。